

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目1 【浄水場のダウンサイジング】

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) 水需要の減少傾向が続いており、浄水施設の稼働率が低下していることを踏まえ、将来に向けた投資水準の適正化を図るため、需要に見合った施設能力にダウンサイジングしていく。</p> <p>(取組の概要) 取水地点の分散によるリスクの低減が可能な現在の施設配置を保持しつつ、段階的に浄水施設の耐震化を進めながら、将来水需要に見合う施設能力へ計画的にダウンサイジングする。</p> <p>(目標) ・ダウンサイジングの実施に向けて、着実に浄水場の耐震化を進める。 ・「グランドデザイン大阪」における柴島浄水場活用の方針や、府市関係部局間で連携して実施している大阪府域全体の水道事業の最適化の検討状況を踏まえて、関係先と調整しながら、計画的にダウンサイジングを進める。</p>		<p>(取組の内容) ・豊野浄水場の耐震化を進める。 ・ダウンサイジングに向けた関係先との調整を行う。</p> <p>(目標) ・豊野浄水場凝集沈でん池(半量※)躯体の築造(2019(令和元)年度完了) ※豊野浄水場の浄水処理能力45万m³/日の半量分の施設規模のこと ・新大阪・大阪エリアのまちづくり構想や大阪府域全体の水道事業最適化検討の進捗状況を踏まえ、ダウンサイジングを進める。</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	<p>・豊野浄水場の耐震化を予定通り進めている。(凝集沈でん池(半量)躯体の築造完了) ・新大阪・大阪エリアのまちづくり構想や大阪府域全体の水道事業最適化検討の状況を確認し、関係先と調整を行った。</p> <p style="text-align: right;">①</p> <p style="text-align: center;">①:目標達成 ②:目標未達成</p>		-

取組項目2 【業務の効率化(職員数の見直し)】

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) 人員マネジメントを適切に行いながら、スリムで効果的な業務執行体制を確立し、生産性の向上を図る。</p> <p>(取組の概要) 業務の委託化や見直しを積極的に推進することで、効率化を図り、人員削減に取り組む。 一方で、事務・技術職員の年齢構成の平準化を図るため、計画的な採用に取り組む。</p> <p>(目標) 2017(平成29)年5月1日時点の職員数(1,388人)から、10年間(2027(令和9)年度まで)で200人以上を削減する。</p>		<p>(取組の内容) 【業務効率化の実施等】 ・浄水場維持管理や給配水設備維持管理について、より効率的な業務執行体制を確立し、委託化等を推進する。</p> <p>【年齢構成の平準化】 ・新規採用者の確保</p> <p>(目標) ・2019(令和元)年5月1日時点の職員数から、2020(令和2)年5月1日時点の職員数を、新規採用者を確保しつつ、10人以上削減する。</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	<p>浄水場維持管理や給配水設備維持管理について、より効率的な業務執行体制を確立し、業務見直し等を推進したことにより、職員数の削減に努めた。 その結果、職員数は2019(令和元)年5月1日時点の1,345人から、2020(令和2)年5月1日時点で新規採用者22名を含め1,330人となり、▲15人の削減を行ったことから、令和元年度の目標(▲10人以上)を上回って達成した。</p> <p style="text-align: right;">①</p> <p style="text-align: center;">①:目標達成 ②:目標未達成</p>		-

取組項目3

【企業債残高の削減】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) ・経営基盤強化のため、企業債残高を引き続き削減する。 ・企業債残高の指数である「給水収益に対する企業債残高割合」(以下、指数という)が、事業規模が比較的近い4都市平均である概ね2倍程度の水準になるよう、2017(平成29)年度末残高から今後10年間で企業債残高を400億円以上削減する。 2027(令和9)年度末目標残高:1,079億円以下(指数:190%) [2017(平成29)年度末残高:1,479億円] ≪参考≫2016(平成28)年度末決算指数 大阪市・・・277% 4都市平均・・・192% ※4都市:本市と同等の概ね給水人口200万人以上の類似都市 札幌市・東京都・横浜市・名古屋市		当年度の取組内容 (取組の内容) 企業債の新規発行を抑制するとともに、着実に償還を行う。 (目標) 2017(平成29)年度末残高(1,479億円)から200億円以上の削減をめざす。 参考 2018(平成30)年度末見込残高:1,325億円

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 企業債の新規発行を15億円に抑制し、169億円の償還を行うことにより、2019(令和元)年度末の企業債残高を1,171億円まで削減した。 (2019(令和元)年度末目標残高:1,279億円)		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①		—

①:目標達成 ②:目標未達成

取組項目4

【有収率の向上】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) ・これまで局経営改革や中期経営計画のもと、必要な事業の選択と集中、業務の委託化・効率化等に取り組み、できる限りの削減を行ってきた。 ・今後は委託化の進展や委託にかかる労務単価の上昇等により、一定増加が見込まれる。 (取組の概要) ・有収率の向上(漏水量の減少)による経費の削減に取り組むことで、物件費等の増加をできる限り抑制する。 (目標) ・94%以上(2027(令和9)年度) 「有収率」の大都市平均を上回る水準をめざす。 ※大都市平均:93.6%(2017(平成29)年度)		当年度の取組内容 (取組の内容) ・有収率の向上(漏水量の減少)による経費の削減 (目標) ・有収率 92.7%以上

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須 令和元年度の有収率は、昨年度実績である91.5%を上回る見込みであるものの、目標値である92.7%には到達できない状況である。今後、有収率の低下原因について詳細に調査・分析し、目標の達成をめざす。
	目標の達成見込み	② ①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 有収率 91.5%(令和元年度実績)		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須 ・給水量分析の各水量について、一部未計上となっていた使用水量を詳細に抽出し、計上することにより、有収率の向上につながる事が判明したため、今後引き続き水量の把握・計上に努める。 ・局内に「有収率向上緊急3ヶ年計画」PT(仮称)を新たに立上げ、これまでの取組みや検討から漏れていたもの、事業化等、予算が必要で実施を見送ってきたものも対象として、関係各課で具体的な対策を抽出し、検証期間含め、令和2～4年の3年間で実効性のある対策を講じる。
	②		

①:目標達成 ②:目標未達成

取組項目5

【資産の有効活用】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) ・「局資産の転活用にかかる基本計画」(2007(平成19)年7月策定)と、その後の更新状況に従い、未利用地の売却及び貸付等による有効活用を行う。		当年度の取組内容 (取組の内容) ・引き続き、未利用地の貸付及び売却により事業外収益の確保に努める。 (目標) ・売却収入及び貸付賃料を合わせて9億円以上の収入確保を図る。 ※売却収入・・・6億円 貸付収入・・・3億円
	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
中間振り返り	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	—
自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 「もと野田営業所用地」を含む未利用地の売却及び貸付により、目標を上回る約21億円の収入を得た。 (売却18億円、貸付3.7億円)		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①		—
①:目標達成 ②:目標未達成			

取組項目6

【未収金の回収に向けた取組】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 給水料の既存未収金を解消し、かつ新たな未収金の発生を抑制することで、安定した収益確保を図る。 (取組の概要) 滞納者の状況に応じ、柔軟で効果的な手法を用いた未納整理業務を実施する。 (目標) 収入率99.8%以上を維持する。		当年度の取組内容 (取組の内容) ・滞納者に対しては、公正・厳格に督促及び給水停止を行う。 ・支払能力のある滞納者に対しては、法的措置など様々な手段を行使して未収金を回収する。 ・料金徴収業務委託者と連携して、計画的・効率的な督促を実施する。 ・未収金回収特別チームにおいて、長期・高額の未収金回収を図る。 ・共同督促の実施など、建設局と連携して未収金回収を図る。 (目標) 2019(令和元)年度分収入率(2020(令和2)年5月末時点)を99.8%以上(2018(平成30)年度目標)とする。
	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
中間振り返り	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	—
自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 ・滞納者に対して厳格な督促及び給水停止を行うとともに、債務承認や支払計画書を取得することにより、未収金の回収を図った。 ・2020(令和2)年5月末時点での収入率は、99.83%となった。		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①		—
①:目標達成 ②:目標未達成			

取組項目7 【内部統制の強化】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 内部統制のPDCAサイクルを自ら回すことができる自律的なリスク管理体制の強化に取り組む。また、職員のコンプライアンス意識を啓発し、各職場でコンプライアンス違反を発生させないための自律的な取組を促進する。	当年度の取組内容 (取組の内容) ・各職場におけるPDCAサイクルを活用した自律的なリスク管理の実施状況の確認 ・他局での事例を含め、公益通報や監査を通じて検出されたコンプライアンス違反や不適正・不適切な事案についての情報を教訓として共有し、コンプライアンス意識の向上及び同種事案の再発防止を徹底 ・コンプライアンス研修等の実施 ・総務省が示すガイドライン(内部統制評価報告書の作成、議会への提出等)に基づく内部統制の再構築 (目標) ・適切に業務が行われているか日常的にチェックを行っていると考えている職員の割合を96%以上とする。 ・直属の上司が日々の業務においてコンプライアンスを意識していると評価する職員の割合を88%以上とする。
----	--	---

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 ・各職場で自律的なリスク管理を実施し、リスクが発生した職場に対してはヒアリングにより是正措置、再発防止策を確認した。 ・コンプライアンス研修等により職員の意識を啓発するとともに、内部統制便り、監査通信(事務・技術)の発行により、不適切な事案等に関する情報を共有し、同種事案の再発防止に取り組んだ。 ・「日常的にチェックを行っている」職員の割合 ⇒ 94.5% ・「直属の上司が日々の業務においてコンプライアンスを意識している」職員の割合 ⇒ 87.7%	②	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須 ・「直属の上司が日々の業務においてコンプライアンスを意識している」職員の割合は昨年度を上回ったもの(H30年度:87.1%→R1年度:87.7%)、「日常的にチェックを行っている」職員の割合については昨年度を下回った(H30年度:95.4%→R1年度:94.5%)。 ・より一層職員の意識啓発を図るため、今年度のアンケート結果については、所属別の分析に加え、新たに職種別の分析を行うことで、より重点的・効果的なコンプライアンス研修等を実施するとともに、各種情報共有を図る。
	①:目標達成 ②:目標未達成		

取組項目8 【工業用水道事業の経営の効率化】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 社会情勢や産業構造の変化により水需要の減少が続いていることなどから、事業運営は非常に厳しい状況であるが、単年度黒字を継続するために、効率的な事業運営を行う。	当年度の取組内容 (取組の内容) ・企業債を発行しないなどによる資本費の抑制 ・事務事業の精査等により、経常経費のさらなる削減を図る (目標) ・単年度経常黒字の確保
----	---	--

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 多量使用者の需要減少等による給水収益の減少が続いているものの、企業債残高の削減や事務事業の精査等に伴う人件費・物件費等の抑制により、今年度においても単年度黒字を維持することができる見込みである。【経常利益(見込)292百万円:2019(令和元)年度】	①	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須 —
	①:目標達成 ②:目標未達成		